



午後3時5分 開会

○委員長（下山哲司君） ただいまから第10回議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（金谷文則君） きょうは、大変皆さん御苦労さまでございました。いろいろと議長のほうの不手際もありますけども、いろいろ御理解いただいてみんなで何とか議会のために頑張っていたきたいと思います。これからもどうぞよろしく願いをいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、日程追加について。

はい、議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、日程の追加について御説明をいたします。

9月2日に澤議員から議員の辞職願が議長へ提出されております。また、澤議員から和気老人ホーム組合議会議員の辞職願を組合議会のほうへ提出いたしておきまして、2日付で許可がされております。補欠選挙が必要となります。そのため、お手元の会期日程表の案のほうを見ていただきたいと思います。会議録署名議員の指名、和気老人ホーム組合議会議員の補欠選挙、澤健議員の議員辞職についてを日程追加をさせていただいております。会議録署名議員の指名につきましては、このたび澤議員が会議録署名議員となっておりますので、澤健議員の辞職についてを審議する際、除斥となっておりますので追加で指名の必要がありますので日程に追加をさせていただいております。御協議をよろしく願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明がございました。委員さんのほうから何か質疑はございませんか。

○委員（北川勝義君） 1じゃろ。

○委員長（下山哲司君） 1です、1です。

○委員（北川勝義君） 問題ねえし、よろしい。

○委員長（下山哲司君） いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、続いて協議事項2番目、和気老人ホーム組合議会議員の補欠選挙について。

はい、議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） では、2番目の和気老人ホーム組合議会議員の補欠選挙について。

先ほど御説明いたしました、澤議員の和気老人ホーム組合議会議員の辞職に伴う補欠選挙について御協議をお願いしたいと思います。

○委員（北川勝義君） ええかな。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） これ見ようたら、老人といたら厚生じゃけどっちか言うたら岡崎さんか原田さんか2人のうち、あんたら2人話して、あんたらが話してというじゃねえ、どっちかせられ2人が、老人ホーム。

○副議長（岡崎達義君） 和気行ったら仕事してまた帰ってきてまた行かにやいけん。

○委員（北川勝義君） そねえな話は関係ありやへんがな。じゃけちよっと話、原田さんがするんならそれもう決めてしまえ。

○副議長（岡崎達義君） 丸山さんにしてもらやあええが、丸山さん。

○委員（北川勝義君） 丸山さんあるんじゃ、老人ホームじゃもん。丸山さん老人ホームなんじゃっちゃ。

○副委員長（福木京子君） もしあれなら私がしてもええ……。

○委員（北川勝義君） じゃけど言うのが、そこん中へねえのが原田さんと岡崎さんじゃけん、どっちか言うたら岡崎さんがおえん言うとするんなら原田さんが出てもらう、原田さんもいけん言うんじゃったら福木さんじゃけど、福木さんがどっちか言うたら私がいうて先言うちゃいけま。原田さんええんじゃろ、もう、老人の。

○委員長（下山哲司君） よろしいか、北川委員。

事前にちょっと議長、副議長に相談をさせてもろうたんです。

○委員（北川勝義君） それだったらもうおめえらでせえ。

○委員長（下山哲司君） いや、じゃから、議会運営委員会で決めることになっとんで……。

○委員（北川勝義君） おえんそりゃあ。

○委員長（下山哲司君） いやいや、そうでなしに、し手がなかったら立候補していただいた人にでもやっていただくかといふとこまでしかしてないんです。

○委員（北川勝義君） そしたら、今言いよるのも岡崎さんが厚生の関係じゃからな、岡崎さんか原田さんが今言いよるそうなるんねえからな、出てもらやあええとわしが意見言うたんじや。

今言うた、岡崎がおえん言いよったらほんなら福木さんが私でもええと、ここがちょっと私も言うたら言うてもらやあちよっと。

○副委員長（福木京子君） 早過ぎる。

○委員（北川勝義君） いや、別に他意はねんじゃけど順番を、向こうが一番じゃ……。

○委員長（下山哲司君） それで今、北川委員から意見があったんで、岡崎委員のほうからどんなですかといふことをお聞きして……。

○委員（北川勝義君） そうして。

○委員長（下山哲司君） それで、岡崎委員が今何か辞退のような話だったんで、原田委員は

どんなでしょうか。僕の立場としてはそういうふうにお聞きせにゃ。

○委員（原田素代君） ここの中で決めなくても全協で決めればいい。

○委員長（下山哲司君） いやいや、これはもう議長の推薦になりますんで、議運で今まで決めとりますから。

○委員（原田素代君） ほかの人はだめなの。

○委員長（下山哲司君） いやいや、そういう意味じゃなしに。

○委員（北川勝義君） いやいや、ほかの人でもええんで。

○委員（原田素代君） いいんでしょ。

○委員長（下山哲司君） ですが、案を持って全協へ行かにゃいけないので。

○議会事務局長（奥田吉男君） 濟いません、議運なんでスイッチ押して皆さんお願いしたいです。

○委員（北川勝義君） できるかできんかだけ決めてもらやええが。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 北川さんからそういう御推薦いただきましたけど、うちの福木さんのほうが務めたいという御意向があるので、ぜひ福木さんに……。

○委員長（下山哲司君） いや、だから原田委員がやるかやらんか言うてくださったら。推薦があつたんで。

○委員（原田素代君） 辞退します。

○委員長（下山哲司君） それでは、今北川委員のほうから岡崎委員、原田委員に推薦があつたんですが、2人がどうも辞退のようなので福木委員さんが先ほど手を挙げようられたんで、福木委員さんをお願いするということで皆さんどんなでしょうか。

○委員（原田素代君） お願いします。

○委員（北川勝義君） ちょっとええ。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 別にえんじゃけど、ただ、今思うたんが並びのことを言いたかっただけで、出てもらわんで、厚生じゃけんこれでえんじゃ。これ厚生じゃのうて産建から出るというたらふん言うてなるけど、たまたま福木さん厚生じゃけええだけで問題ねんじゃけど、一応形上としては誰も欄がなかったときに、議運の中で決める丸がねえところを選んだと。

○委員長（下山哲司君） そうです、そうです。

○委員（北川勝義君） しかもどっちもいろいろの都合があつて出れれんので言うたら、厚生の中で福木さんが出られたというふうにしましようや。そうせなんたらおかしゅうなってる。ちょっとそこだけ。

○委員長（下山哲司君） それでは、今北川委員が申されたようなことで議長、推薦のほうを

お願いしたいと思いますので、福木委員によりしくお願いいたします。

それでは、続いて協議事項3番目、議会選出各種委員等の選出についてでございます。

はい、議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） 議会選出各種委員等の選出についてということで、お手元の資料のほうに一覧表、A3のものをお配りしております。

澤議員につきましては、網かけでお示しをしとる25番の赤磐市経営・生産対策推進会議の委員、並びに31番の赤磐市鳥獣被害防止対策協議会の委員になっていただいております。後任の選出について御協議お願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） それでは、今局長から説明ございました25番、31番について御意見をいただきたいと思いますが。

○委員（北川勝義君） ちょっとええ。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 原則的に言うんじゃねえ、あいとるところあるんじゃけど、監査委員はどこでも辞退言うのはあれなんでほかのこと言うたら、産業から出てもらうんが順当なんじゃねえかなと思うたりしょんです。鳥獣もどういことなけりゃほかからもあるんじゃけど、どんなんじゃろうかな、これはもう。それで、かぶってねえ言うたらおかしいけど、治徳さんが委員長が両方かぶつとるだけで、あとかぶってねかろう。それで、行本さん抜く言うたらおかしいじゃろうか、そん中であと議長が出てくるというのもあれかもしれんけど、委員として出るんじやったら別に関係ねえけど、ちょっとそこら保田さんもおられるし、ちょっとそうして、どねえかな。

○委員長（下山哲司君） はい、治徳委員。

○委員（治徳義明君） 今、北川委員さんが言われたとおり、産業建設のほうから選出をお願いしたいと、このように思います。

○委員（北川勝義君） で、誰推すんな。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員長のほうから推薦者があればお名前をいただければ幸いです。

○委員（治徳義明君） 保田……。

○委員長（下山哲司君） どちらを。

○委員（北川勝義君） 両方でもえんじゃろ。

○議長（金谷文則君） 基本条例は保田さんで。

○委員（治徳義明君） 基本条例は。

○委員長（下山哲司君） それはまた。

○委員（北川勝義君） 保田さん2つ出とつてもえんじゃろ。

○委員（治徳義明君） それは構わないですけど。

- 委員（原田素代君） 佐藤さんは。
- 委員（治徳義明君） きょう、先ほどちょっと帰られた言われるんで、ちょっと確認がとれないと思うので。
- 委員（北川勝義君） 保田さんに両方受けてもろうときゃええが。
- 委員長（下山哲司君） お願いできるんでしたら、もうここにおられる方で確認がとれ…
- …。
- 委員（原田素代君） 挙手をして、委員長の許可をいただいて。
- 委員長（下山哲司君） はい、岡崎委員。
- 副議長（岡崎達義君） 保田さんには議会基本条例のほうへ出てもらわんといけんのですよ、1人。両方出る、全部出る。
- 委員（北川勝義君） そりゃええがな。それは任せた。
- 委員（治徳義明君） 委員が御了解なら、そうしていただければ。
- 委員長（下山哲司君） それじゃ、保田委員、25番、31番お願いできますか。それで議長よろしいか。
- 議長（金谷文則君） はい、そのように。よろしくをお願いします。
- 委員長（下山哲司君） それでは、短期で大変でしょうけど、そういうことでひとつよろしくお願いいたします。
- それでは、続いて協議事項4番目に行かせていただきます。
- 議会広報編集特別委員、議会基本条例特別委員の欠員の対応についてを。
- 局長。
- 議会事務局長（奥田吉男君） 議会広報編集特別委員並びに議会基本条例特別委員の欠員の補充という形で、澤議員さんが務めておられました特別委員の欠員についてという内容でございます。2日付に両特別委員ともに辞任の願いが出ておりまして、議長に提出され同日付で許可をされております。そのため、今後の対応について協議をいただきたいと思っております。
- 委員（北川勝義君） はい。
- 委員長（下山哲司君） はい、北川委員。
- 委員（北川勝義君） 保田さん、議会基本条例とそれから広報は治徳さんがせられ、治徳さんが広報委員で、もうこれで、簡単でいいんじゃないですか。
- 委員長（下山哲司君） ただいま北川委員のほうから御意見が出ました。両方それで、産建から出ておりますので、産建で。
- 委員（北川勝義君） 産建でなきゃあどうしようもねえ。
- 委員長（下山哲司君） それでは、そういうことでよろしいですか。
- 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（下山哲司君） それでは、そういうことでよろしくお願いいたします。

続いて、協議事項5番目、その他についてはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければこれで終了したいと思いますよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、以上をもちまして第10回議会運営委員会を閉会といたします。

ありがとうございました。

午後3時17分 閉会